

授業概要

授業のタイトル(科目名) 介護の基本 I		授業の種類 (通信)	
授業の回数	時間数 10	配当学年・時期	必修・選択 必修
<p>[授業の目的・狙い] 「尊厳の保持」「自立支援」という新しい介護の考え方を理解するとともに、「介護を必要とする人」を、生活の観点から捉えるための学習。また、介護における安全やチームケア等について理解するための学習とする。</p> <p>[授業全体の内容の概要] 介護の意義と役割及び専門性について介護の歴史や関連法規を通して理解し、介護実践の基本的姿勢についてノーマライゼーションやICF、介護の倫理などを通して理解する。とりわけ、介護実践は介護を必要とする人を「生活する人」として受け止め、一人ひとりの利用者の意向や生き方、生活習慣など、「その人らしさ(個別性)」を大切にすることなどを学ぶことが必要であり、尊厳を守る介護、自立に向けた介護について理解を深める。さらにケアマネジメントや職業倫理、リスクマネジメント、そして介護従事者の健康管理などについて学ぶことにより、安全かつ安心できる介護や信頼のおける介護の実現を目指す。また、領域「人間と社会」や「こころとからだのしくみ」で学んだ人間や社会を理解する視点から介護の専門性を理解し、利用者が安心して生きがいの持てる生活が営める生活環境を整えることが可能となるよう、危機管理や関係職種間の連携の在り方などを理解する。</p> <p>[授業終了時の達成課題(到達目標)] 介護福祉士制度の沿革、法的な定義、業務範囲、義務等を理解している。 個別ケア、ICF、リハビリテーションの考え方を踏まえ、尊厳の保持自立に向けた介護展開を理解できる。 介護福祉士の職業倫理、身体拘束禁止・虐待防止に関する法制度を理解し倫理を遵守している。</p> <p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数</p> <p>介護福祉士と介護の考え方</p> <p>1、介護福祉士の制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士を取り巻く状況 ・介護福祉士及び介護福祉法 <p>2、尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者に合わせて生活支援 ・自立に向けた支援 ・介護の専門性 <p>3、介護福祉士の倫理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士としての倫理の必要性 ・日本介護福祉士会倫理綱領 			
<p>[使用テキスト・参考文献] 中央法規出版「介護職員実務者研修テキスト」</p>		<p>[成績判定基準] (試験やレポートの評価基準など) 提出課題(レポート)により評価する。 70点以上を合格とする。</p>	